



アクアスやいづ前広場 うみえーる焼津にて 焼津朝市 開催します



★ヤイツツナコープによる《まぐろ解体ショー 11:30より》

9月20日(日)～23日(水)まで ●新さんま・激安で販売●

★地元企業による地場産品多数出展……………

鯉節・ねり、かまぼこ製品・佃煮・生利節・鯖刺身商材
つけもの

9月20日(日)

AM 9:00～12:00

★まぐろ茶屋による《特製 まぐろ丼 500円》で販売

次回 11/3 第2回朝市 開催決定

魚がし缶 新発売

焼津の夏の定番といえば魚がしシャツです。赤ちゃんからお年寄りまで、10代、20代の若者も含めこれほどに街中の人々みんなから愛されているものは世の中そうないと思います。

石松園銘茶本舗では魚がし柄の茶缶魚がし缶>とふろしきバッグ・シュシュなどのく魚がしグッズ>を取り揃えスタッフ一同お待ちしております。また夏だけでなく、一年中楽しめるような企画をこれからも考えていきます。

9月11日(金)より魚がし缶第2弾(ハロウィーンバージョン)を発表致します。
乞うご期待!

*一年中大活躍 水出し煎茶ティーバッグ 7個入り ¥1,050

*ジャージーミルク抹茶チョコレート(15個入り) ¥630



人気の豆しぼり柄など5色展開です

石松園銘茶本舗 お問い合わせ(フリーダイヤル) 0120(29)6123

まちの案内 まちの情報を発信しましょう

「焼津神社のお面さん」…………… やいづの昔話より



毎年夏に行われる焼津神社の荒祭りには、お面さんと呼ばれる猿田彦のお面が登場します。このお面には、こんなお話が伝えられています。江戸時代のことでした。焼津村に村松さんという、たいへんソロバンのじょうずな人がいました。村松さんは、江戸の町でソロバンを教えたいと思うようになって、ソロバンひとつを持って出かけていきました。江戸のあちこちでパチパチとソロバンを教えているうち、何年かが過ぎ、やがて焼津に帰ることになりました。村松さんは、「江戸のみやげに何かよいものはないかなあ。」と、あれやこれや考えたすえ、能面づくりで有名な出目右満に、お面を作ってもらうことに決めました。右満は村松さんの願いを気持よくききいれて、いっしょうけんめいに心をこめて猿田彦の面をほりました。村松さんはこのお面をみやげにして、焼津に帰り、焼津神社にさしあげました。いっぼう、江戸の右満の身には恐ろしいことがおこっていました。右満は自分でもたいんよくできたと思った猿田彦の面を村松さんにゆずってしまい、とてもさびしい気持ちになっていました。そこで、前の面よりもっとよいものを、もう一面ほろうと思い、ふたたびノミをふるっていました。ある夜、右満の仕事場をのぞく一人の怪しい男がいました。男は、いっしょうけんめいに面をほる右満のうしろにしのびよると、刀を抜き、頭の上にかまえました。右満が人の気配に気づき、ふり返ろうとしたとき、右満の右がわに刀がふりおろされ、右満の右うでは切り落とされてしまいました。この男は右満のうでまえをねたんで、面づくりができないようにしてしまったのです。この作りかけの面は、赤くそまったまま、奈良の正倉院におさめられ、名人出目右満の悲しい運命を今に伝えています。そして、村松さんの持ち帰った猿田彦の面は、今でも焼津神社のお祭りにその姿をあらわしています。